

平成 31 年 度
(2019 年 度)

大学院人文科学研究科(修士課程)

学 生 募 集 要 項

【前期日程・後期日程】

一 般 入 試
社 会 人 入 試
外国人留学生特別入試

平成 30 年 6 月

富 山 大 学

目 次

富山大学大学院人文科学研究科を志望するみなさまへ	1
富山大学大学院人文科学研究科の基本方針	2
富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）入学者選抜の概要	3
一 般 入 試	4
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 選抜方法	
4. 試験期日及び時間割	
社 会 人 入 試	6
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 選抜方法	
4. 試験期日及び時間割	
5. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について	
6. 長期履修制度	
外国人留学生特別入試	8
1. 募集人員	
2. 出願資格及び出願要件	
3. 選抜方法	
4. 試験期日及び時間割	
共 通 事 項	10
1. 出願期間	
2. 出願方法	
3. 出願書類等	
4. 出願資格の事前審査	
5. 試験場	
6. 合格者発表	
7. 入学手続	
8. 注意事項	
9. 志願者の個人情報保護について	
人 文 学 科 研 究 科 の 概 要	14

【添付書類】

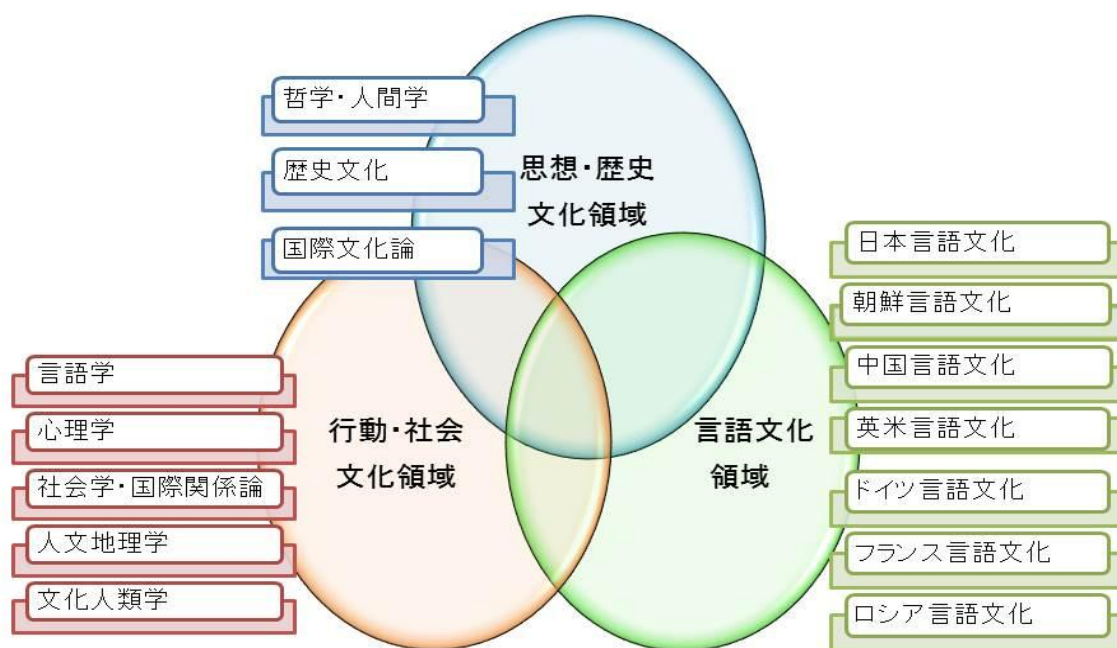
- 富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）入学願書
- 富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）外国人志願者入学願書
- 写真票・受験票
- 履歴書（外国人志願者用）
- 出願資格審査申請書
- 「出願資格(9)」による事前審査申請書 ○推薦書
- 振替払込受付証明書はり付け台紙
- 検定料振込書（富山大学大学院人文科学研究科）
- 検定料返還請求書
- 出願用封筒 ○受験票等送付用封筒 ○あて名票

富山大学大学院人文科学研究科を志望するみなさまへ

人文科学研究科は、多様化・複雑化した人間・文化・社会の諸相を総合的に把握し、多様な学生にきめ細かくかつ機敏に対応できる柔軟な体制を実現するために、人文科学 1 専攻・15 研究分野というかたちをとっています。これにより、方法論や一般理論の深化・発展を重視する教育研究分野と、地域に密着した研究を重視する教育研究分野とが、柔軟に連携します。

さらに、分野間の連携・協力を明示するために、文献や史料を研究の素材とする思想・歴史文化領域、実験や調査を研究手法とする行動・社会文化領域、言語や広義の文学を研究対象とする言語文化領域という 3 領域を設定しています。

以上により、深さのみならず幅を備えた効果的な研究指導を、複数の指導教員から受けることができます。



※ 教育研究分野の詳細は、人文科学研究科の概要（14～17 頁）をご覧ください。

富山大学大学院人文科学研究科の基本方針

I. 入学者受入方針

本研究科は、以下の能力や資質を持った学生を求めます。

1. 専攻する研究分野についての基礎的な研究能力を身につけている。
2. 論理的思考力と創造性を持ち、研究に対する強い意欲を備えている。
3. 深い人間理解と倫理観を備え、社会貢献に必要な豊かな人間性を有している。

II. 教育課程編成・実施方針

本研究科は、研究科の人材育成目標達成のために、下記のようなカリキュラムを編成・実施しています。

1. 1年次には、「特論」で各専門分野の基本概念や方法論などを踏まえて深く学びながら、「特論演習」で、研究文献・史料などの高度の読解力や人間や社会を対象とする実験や調査の手法、資料の分析方法などを修得していきます。これと並行して異なる研究分野の教員の指導を受けることによって、専門性を深化させるとともに、学際性・総合性を備えた学修が可能になります。
2. 「課題研究」で自ら研究課題を設けて、自主的・自立的に研究を遂行しうる能力を養成し、2年次には、修士論文の作成を行います。他領域や他研究科の教員の指導も受けられます。
3. 所定の単位を修得し、修士論文を提出します。学位授与方針に基づいた厳正な審査を経て、学位が授与されます。

III. 学位授与方針

本研究科が目標とする人物像は以下のとおりです。

1. 人文科学諸分野に関する高度な専門的知識を有し、その知識を背景に俯瞰的に地域や時代をとらえ、地域や時代の先端的諸要請に多面的に応えうる人材。
2. 主に欧米や東アジアの、思想、歴史、文学、言語に精通し、当該地域に関する研究を発展させ、その成果を世界に展開させていける人材。
3. 自らの研究を独創的に発展させ、人間に関わる諸課題に対して創造的に対応できる人材。
4. 広く人文科学諸分野に精通し、知識基盤社会を支えることができる人材。

以上のような人材を育成するために、カリキュラムを編成・実施しています。修士課程の教育を通して、学生には以下の能力を身につけさせます。

1. 思想、歴史、文化、心理、社会、言語、文学に関する豊かな知見。
2. 人文科学諸分野に関する調査・発表・討論などの実践的能力。
3. 様々な先端的課題を探求し、解決する能力。
4. 日本文化はもとより欧米や東アジアなどの異文化を理解する能力。
5. コミュニケーションを通して豊かな人間関係を築きながら、多文化共生社会のなかで協調・協働して目標を実現することができる能力。

富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）入学者選抜の概要

募 集 人 員

専 攻	入 試 区 分	募 集 人 員
人文科学専攻	一般、社会人入試【前期日程】	6 名
	一般、社会人入試【後期日程】	2 名
	外国人留学生特別入試	若干名
	外国人留学生特別入試（指定校推薦）	若干名
	合 計	8 名 ※

※ 募集人員8名には外国人留学生特別入試(指定校推薦含む)の募集人員を含みます。

※ 後期日程の募集人員については前期日程の定員充足状況により増員になる場合があります。

なお、募集人員については、平成 30(2018)年 12 月下旬頃人文学部ウェブサイト上でお知らせします。

入学試験関係日程

	一般、社会人入試【前期日程】 外国人留学生特別入試（第1回）※	一般、社会人入試【後期日程】 外国人留学生特別入試（第2回）※
出願資格審査照会期限 (該当者のみ)	平成 30(2018)年 7 月 11 日 (水)	平成 30(2018)年 11 月 16 日 (金)
出願資格審査 (該当者のみ)	平成 30(2018)年 7 月 17 日 (火)	平成 30(2018)年 11 月 22 日 (木)
出 願 期 間	平成 30(2018)年 7 月 23 日 (月) ~27 日 (金)	平成 30(2018)年 11 月 29 日 (木) ~12 月 5 日 (水)
受験票発送 (投函)	平成 30(2018)年 8 月 20 日 (月)	平成 30(2018)年 12 月 17 日 (月)
選抜試験日	平成 30(2018)年 9 月 6 日 (木)	平成 31(2019)年 1 月 23 日 (水)
合格者発表	平成 30(2018)年 9 月 18 日 (火)	平成 31(2019)年 2 月 4 日 (月)
入 学 手 続 (手続締切日)	平成 30(2018)年 12 月中旬 (予定)	平成 31(2019)年 2 月中旬 (予定)

※ 外国人留学生特別入試は一般入試と同じ日程で実施します。

一 般 入 試

1. 募 集 人 員

研究科	専攻	募集人員	
		前期日程	後期日程
人文科学研究科	人文科学専攻	6名	2名

- ※ 募集人員には、社会人入試、外国人留学生特別入試（指定校推薦含む）の募集人員を含みます。
- ※ 後期日程の募集人員については前期日程の定員充足状況により増員になる場合があります。なお、募集人員については、平成30(2018)年12月下旬頃人文学部ウェブサイト上でお知らせします。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び平成31(2019)年3月卒業見込みの者
 - (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成31(2019)年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31(2019)年3月修了見込みの者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31(2019)年3月31日までに修了見込みの者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31(2019)年3月31日までに授与される見込みの者
 - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
 - (9) 平成31(2019)年3月31日で大学に3年以上在学した者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
 - (10) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって、次の二つの条件を満たし、かつ本研究科において、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 - a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者及び平成31(2019)年3月31日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者
 - b. 平成31(2019)年3月31日までに22歳に達する者
 - (11) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31(2019)年3月31日までに22歳に達する者
- (注意) 出願資格 (3)・(4)・(6)・(9)・(10)・(11)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「共通事項 4. 出願資格の事前審査 (11 頁)」を参照し、所定の手続きを行ってください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、学業成績証明書及び研究主題に関する報告書等に基づいて行います。

(1) 筆記試験

①外国語

英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、日本語から、母語以外の1か国語をあらかじめ選択してください。

ただし、教育研究分野によっては、外国語の選択を指定・制限している場合がありますので、注意してください。具体的には次のとおりです。

心理学	「英語」を選択してください。
朝鮮言語文化	「朝鮮語」を選択できます。
中国言語文化	「中国語」は選択できません。
英米言語文化	「英語」を選択できます。
ドイツ言語文化	「ドイツ語」は選択できません。
フランス言語文化	「フランス語」を選択できます。
ロシア言語文化	「ロシア語」は選択できません。

②専門科目

次の15教育研究分野のうちから、志望する分野の専門科目を受験してください。

教育研究分野	専門科目
(思想・歴史文化領域)	
哲学・人間学	哲学・倫理思想・宗教思想に関する選択問題。
歴史文化	歴史学の共通問題のほかに、「日本史」「東洋史」「西洋史」「考古学」からひとつを選択。
国際文化論	異文化理解に関する共通問題のほか、日本・中国・朝鮮・アメリカ・ロシア等の各地域の諸文化に関する問題。
(行動・社会文化領域)	
言語学	言語学の共通問題のほかに、日本語教育学等の関連分野を含めた選択問題。
心理学	認知・実験・社会・臨床等の分野を中心に、心理学の知識を問う。
社会学・国際関係論	「社会学」もしくは「国際関係論」のいずれかを選択。いずれも、基礎用語と研究方法に関する理解を問う。
人文地理学	さまざまな地図や統計データを適切に読み取り論述する能力、地理学に関する専門用語についての基礎的知識を問う。
文化人類学	文化人類学の基礎的知識およびフィールドワークの技能を問う。
(言語文化領域)	
日本言語文化	「日本語学」もしくは「日本文学」のいずれかを選択。
朝鮮言語文化	朝鮮語学・朝鮮文学の知識を問う。
中国言語文化	中国語学・中国文学に関する知識を問う。
英米言語文化	英語力を見る問題のほかに、「英語学」「イギリス文学」「アメリカ文学」からひとつを選択。
ドイツ言語文化	ドイツ語力を見る問題のほかに、ドイツ語学・ドイツ文学に関する知識を問う。
フランス言語文化	フランス語の総合的な理解力、およびフランス文学・文化の知識を問う。
ロシア言語文化	ロシア語の総合的な理解力、およびロシア文学・文化の知識を問う。

(2) 口述試験

専門科目を中心として行います。

4. 試験期日及び時間割

	試験日	時間	科目等
前期日程	平成30(2018)年 9月6日(木)	8:30 ~ 9:00	受付
		9:30 ~ 11:30	専門科目
		13:00 ~ 14:30	外国語科目
		15:00 ~	口述試験
後期日程	平成31(2019)年 1月23日(水)	8:30 ~ 9:00	受付
		9:30 ~ 11:30	専門科目
		13:00 ~ 14:30	外国語科目
		15:00 ~	口述試験

社会人入試

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
		前期日程	後期日程
人文科学研究科	人文科学専攻	若干名	若干名

2. 出願資格

平成 31(2019)年 3 月 31 日までに、原則として大学卒業後 3 年以上の社会人の経験を有し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者(昭和 28 年文部省告示第 5 号)
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31(2019)年 3 月 31 日までに 25 歳に達する者

(注意) 出願資格(3)・(4)・(6)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「共通事項 4. 出願資格の事前審査 (11 頁)」を参照し、所定の手続きを行ってください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、学業成績証明書及び研究志望書等に基づいて行います。

- (1) 筆記試験
専門科目

次の 15 教育研究分野のうちから、志望する分野の専門科目を受験してください。

	教育研究分野	専門科目
人文科学専攻	(思想・歴史文化領域)	
	哲学・人間学	哲学・倫理思想・宗教思想に関する選択問題。
	歴史文化	歴史学の共通問題のほかに、「日本史」「東洋史」「西洋史」「考古学」からひとつを選択。
	国際文化論	異文化理解に関する共通問題のほか、日本・中国・朝鮮・アメリカ・ロシア等の各地域の諸文化に関する問題。
	(行動・社会文化領域)	
	言語学	言語学の共通問題のほかに、日本語教育学等の関連分野を含めた選択問題。
	心理学	認知・実験・社会・臨床等の分野を中心に、心理学の基礎知識を問う。
	社会学・国際関係論	「社会学」もしくは「国際関係論」のいずれかを選択。いずれも、基礎用語と研究方法に関する理解を問う。
	人文地理学	さまざまな地図や統計データを適切に読み取り論述する能力、地理学に関する専門用語についての基礎的知識を問う。
	文化人類学	文化人類学の基礎的知識およびフィールドワークの技能を問う。

(言語文化領域)		
人 文 科 学 専 攻	日本言語文化	「日本語学」もしくは「日本文学」のいずれかを選択。
	朝鮮言語文化	朝鮮語学・朝鮮文学の知識を問う。
	中国言語文化	中国語学・中国文学に関する知識を問う。
	英米言語文化	英語力を見る問題のほかに、「英語学」「イギリス文学」「アメリカ文学」からひとつを選択。
	ドイツ言語文化	ドイツ語力を見る問題のほかに、ドイツ語学・ドイツ文学に関する知識を問う。
	フランス言語文化	フランス語の総合的な理解力、およびフランス文学・文化の知識を問う。
	ロシア言語文化	ロシア語の総合的な理解力、およびロシア文学・文化の知識を問う。

- (2) 口述試験
専門科目を中心として行います。

4. 試験期日及び時間割

	試験日	時間	科目等
前期日程	平成 30(2018)年 9月6日(木)	8:30 ~ 9:00	受付
		9:30 ~ 11:30	専門科目
		13:00 ~	口述試験
後期日程	平成 31(2019)年 1月23日(水)	8:30 ~ 9:00	受付
		9:30 ~ 11:30	専門科目
		13:00 ~	口述試験

5. 大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例措置について

大学院設置基準第 14 条では、「教育上特別の理由があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は期間において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」旨が規定されています。

これを踏まえ、人文科学研究科においては、社会人の合格者に対して、所属先の勤務条件等を考慮し時間割については、昼夜開講やその他の時間帯・時期等可能な範囲で相談に応じます。

6. 長期履修制度

長期履修制度とは、常勤の職業等を有するなどのさまざまな理由により、2年間の標準修業年限では修了が困難な方が2年を超える一定の期間内に教育課程を計画的に履修するというものです。本研究科の修士課程では最長4年までの在学期間を認めていますので、これが許可された場合には、標準修業年限(2年)の授業料の総額を、所定の履修期間を通じて学期ごとに均分して支払っていただくこととなります。

※申請方法等は、入学手続書類郵送時にお知らせします。

また、申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。

外国人留学生特別入試

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
		第1回 ※前期日程と同日程	第2回 ※後期日程と同日程
人文科学研究科	人文科学専攻	若干名	若干名

2. 出願資格及び出願要件

外国人留学生特別入試に出願できる者は、一般入試の出願資格(1)から(11)のいずれかに該当する者で、かつ、次のa、b及びcをすべて満たす者としてします。

- a 日本国籍を有しない者
- b 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は大学入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者
- c 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験(JLPT)N1の認定を受けた者

3. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、学業成績証明書及び研究主題に関する報告書等に基づいて行います。

(1) 筆記試験

①外国語

公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験(JLPT)N1の成績(得点)を利用します。

②専門科目

次の15教育研究分野のうちから、志望する分野の専門科目を受験してください。

	教育研究分野	専門科目
人 文 学 科 専 攻	(思想・歴史文化領域)	
	哲学・人間学	哲学・倫理思想・宗教思想に関する選択問題。
	歴史文化	歴史学の共通問題のほかに、「日本史」「東洋史」「西洋史」「考古学」からひとつを選択。
	国際文化論	異文化理解に関する共通問題のほか、日本・中国・朝鮮・アメリカ・ロシア等の各地域の諸文化に関する問題。
	(行動・社会文化領域)	
	言語学	言語学の共通問題のほかに、日本語教育学等の関連分野を含めた選択問題。
	心理学	認知・実験・社会・臨床等の分野を中心に、心理学の知識を問う。
	社会学・国際関係論	「社会学」もしくは「国際関係論」のいずれかを選択。いずれも、基礎用語と研究方法に関する理解を問う。
	人文地理学	さまざまな地図や統計データを適切に読み取り論述する能力、地理学に関する専門用語についての基礎的知識を問う。
	文化人類学	文化人類学の基礎的知識およびフィールドワークの技能を問う。

人文科学専攻	(言語文化領域)	
	日本語文化	「日本語学」もしくは「日本文学」のいずれかを選択。
	朝鮮言語文化	朝鮮語学・朝鮮文学の知識を問う。
	中国言語文化	中国語学・中国文学に関する知識を問う。
	英米言語文化	英語力を見る問題のほかに、「英語学」「イギリス文学」「アメリカ文学」からひとつを選択。
	ドイツ言語文化	ドイツ語力を見る問題のほかに、ドイツ語学・ドイツ文学に関する知識を問う。
	フランス言語文化	フランス語の総合的な理解力、およびフランス文学・文化の知識を問う。
ロシア言語文化	ロシア語の総合的な理解力、およびロシア文学・文化の知識を問う。	

(2) 口述試験

専門科目を中心として行います。

また、日本語能力試験の成績通知書の原本を確認します。

4. 試験期日及び時間割

	試験日	時間	科目等
第1回 <small>※前期日程と同日程</small>	平成30(2018)年 9月6日(木)	8:30 ~ 9:00	受付
		9:30 ~ 11:30	専門科目
		13:00 ~	口述試験
第2回 <small>※後期日程と同日程</small>	平成31(2019)年 1月23日(水)	8:30 ~ 9:00	受付
		9:30 ~ 11:30	専門科目
		13:00 ~	口述試験

共 通 事 項

1. 出 願 期 間

	出 願 期 間
前期日程 (一般入試、社会人入試) 外国人留学生特別入試 (第1回)	平成 30(2018)年 7 月 23 日(月) ～ 7 月 27 日(金) 午後 4 時まで
後期日程 (一般入試、社会人入試) 外国人留学生特別入試 (第2回)	平成 30(2018)年 11 月 29 日(木) ～ 12 月 5 日(水) 午後 4 時まで

原則、出願は郵送とし、上記期間までに必着とします。
やむを得ず持参する場合は、午前 9 時から午後 4 時まで受け付けます。
(土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。)郵送、持参ともに期限後の提出は受理しません。ただし、【前期日程】平成 30(2018)年 7 月 26 日(木)、【後期日程】平成 30(2018)年 12 月 4 日(火)以前の消印(日本国内の郵便の消印に限る。)のある書留速達郵便に限り、出願期限以降に到着した場合でも受理します。

2. 出 願 方 法

志願者は、出願書類を取り揃え、所定の期日までに下記宛に提出してください。
巻末に添付の所定の封筒(出願用封筒)に出願書類を入れ、書留速達郵便で送付してください。

「提出先：〒930 - 8555 富山市五福 3190 富山大学人文学部(入試担当)」

3. 出 願 書 類 等

出願書類等	摘 要
① 入学願書	本学所定の用紙による。
② 写真票・受験票	本学所定の用紙による。 出願前 3 か月以内に撮影した上半身脱帽、正面写し、縦 4cm、横 3cm の写真をはり付け、所要事項を記入してください。
③ 学業成績証明書	出身大学長又は学部長が作成厳封したもの。ただし、偽造・複写防止用紙を使用している場合は、厳封不要です。
④ 卒業(見込)証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
⑤ 振替払込受付証明書 (検定料 30,000 円) ※必ず本学所定の台紙にはり付けて提出すること。	本学所定の振込書により、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局を含む。)の窓口で検定料を納付後、金融機関発行の「振替払込受付証明書」に日附印が押印されていることを必ず確認し、本学所定の「振替払込受付証明書はり付け台紙」にはり付けて提出してください。 「領収書」は発行しませんので、金融機関発行の「振替払込請求書兼受領証」を大切に保管してください。振込みの際には、別途手数料が必要です。
⑥ 研究志望書	「入学後の研究の抱負」(日本語で 2000 字程度)を提出してください。
⑦ 履歴書	【外国人志願者のみ提出】本学所定の用紙による。
⑧ 受験票等送付用封筒 (長形 3 号)	本学所定の封筒に郵便番号及びあて名を明記し、362 円分の郵便切手をはり付けてください。
⑨ あて名票(シール)	本学所定の用紙にあて名を明記したもの。
⑩ 住民票の写し	【日本国内に居住している外国人出願者のみ提出】 居住している市・区・町・村長の発行のもの(在留資格が明示されているもの)。
⑪ 日本語能力試験の成績通知書等	【外国人留学生特別入試出願者】 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験の成績通知書(写)を提出してください。 ※成績通知書の原本は試験日当日に口述試験の際に確認します。
⑫ 学位授与証明書または学位授与申請(予定)証明書	【一般入試の出願資格(2)に該当する者】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書。

(注意) 外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。

4. 出願資格の事前審査 ※該当者のみ

一般入試の出願資格(3)・(4)・(6)・(9)・(10)・(11)、社会人入試の出願資格(3)・(4)・(6)、外国人留学生特別入試に出願する者で一般入試における出願資格(3)・(4)・(6)・(9)・(10)・(11)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、下記に照会のうえ、期日までに所定の書類を提出してください。

「照会、提出先：〒930 - 8555 富山市五福 3190
富山大学人文学部(入試担当) 電話 076-445-6138」

(1) 出願資格審査に必要とする書類

- ① 出願資格審査申請書(本学所定の様式)
- ② 「出願資格(9)」による事前審査申請書(本学所定の様式)※出願資格(9)の該当者のみ
- ③ 学業成績証明書
- ④ 卒業(見込)証明書
※一般入試の出願資格(9)に該当する者は、上記④に代えて
④-1 推薦書(本学所定の様式)
④-2 出願者の所属する学科等の教育課程表
- ⑤ 住民票の写し(現に日本国に在住している外国人志願者のみ)
- ⑥ 履歴書(本学所定の様式 ※外国人志願者のみ)
- ⑦ 長形3号の返信用封筒(362円分の切手を貼付し、あて名、郵便番号を明記したもの)
- ⑧ その他必要とする書類

(注)各証明書は、原本を提出してください。写しが提出された場合は受理しません。
外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。

(2) 書類提出期限

	出願資格審査照会期限
前期日程(一般入試、社会人入試) 外国人留学生特別入試(第1回)	平成30(2018)年7月11日(水)午後4時まで
後期日程(一般入試、社会人入試) 外国人留学生特別入試(第2回)	平成30(2018)年11月16日(金)午後4時まで

原則、出願は郵送とし、上記期間までに必着とします。
やむを得ず持参する場合は、午前9時から午後4時まで受け付けます。
(土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。) 期限後の提出は受理しません。

(3) 審査結果の通知

事前審査の結果は、【前期日程】平成30(2018)年7月20日(金)、
【後期日程】平成30(2018)年11月26日(月)までに本人宛に通知書を発送します。

5. 試験場

富山大学五福キャンパス 人文学部(富山市五福3190)
※アクセス方法については裏表紙をご覧ください。

6. 合格者発表

以下の日時に合格者を人文学部正面玄関に掲示するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

また、合格者の受験番号を富山大学人文学部ウェブサイトにも掲載します。

なお、電話その他による問い合わせには一切応じません。

	発表日時
前期日程(一般入試、社会人入試) 外国人留学生特別入試※前期日程と同日	平成30(2018)年9月18日(火)午前10時
後期日程(一般入試、社会人入試) 外国人留学生特別入試※後期日程と同日	平成31(2019)年2月4日(月)午前10時

7. 入学手続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細は合格者に通知します。

(1) 入学手続期限

【前期日程】平成30(2018)年12月中旬(予定)

【後期日程】平成31(2019)年2月中旬(予定)

(2) 入学手続時に要する経費

ア 入 学 料 282,000 円(予定額)

上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合は、新たな入学料を適用します。

また、納付された入学料は返還しません。

(注)入学を辞退する場合は、必ず書面(任意様式)で手続をしてください。

イ その他

学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

(3) 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

(注1) 授業料の納付について

入学後(前期分は5月、後期分は11月)にそれぞれ口座振替により納付することとします。納付金額・納付方法等の詳細については、入学手続時に通知します。

〈参考〉平成30(2018)年度授業料 年額 535,800円

(注2) (i) 入学料、授業料とも、以下の条件を満たす者には、選考の上、全額または半額の免除を認める制度があります。

① 経済的理由により納付が困難ながら、学業優秀と認められる者

② 学資負担者が死亡するか、風水害等の特別の事情により納付が著しく困難であると認められる者

(ii) 奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

8. 注 意 事 項

(1) 受験票は、本人宛に郵送します。受験の際は、必ず受験票を携帯してください。

(2) 試験当日は、午前9時まで人文学部に集合し、受付をしてください。

(3) 出願手続き後の願書等記載事項の変更は一切認めません。また、出願書類はいかなる理由があっても返還しません。

(4) 一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、返還しません。

① 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 《返還額》 30,000円

② 検定料を二重に払い込んだ場合 《返還額》 30,000円

③ 検定料を多く払い込んだ場合 《返還額》 多く払い込んだ額

ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

※ 返還請求の方法

別添の「検定料返還請求書」に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。

なお、①及び②の場合は、必ず、「振替払込受付証明書」をはり付けてください。「送付先：〒930-8555 富山市五福3190 富山大学財務部経理課

電話 (076)445-6053」

(5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(6) 障害等(視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、怪我、発達障害等)があつて、受験上及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、【前期日程】平成30(2018)年7月11日(水)、【後期日程】平成30(2018)年11月16日(金)までに人文学部(入試担当)に申し出てください。

また申し出に基づき相談が必要となった場合【前期日程】平成30(2018)年7月17日(火)、【後期日程】平成30(2018)年11月22日(木)までに申請書(様式は任意)に医師の診断書(写しでも可)を添え、提出してください。

- (7) 出願書類を郵便で請求する場合は、返信用封筒(角型 2号 24cm×33.2cm)に郵便切手 250円をはり付け、送付先・郵便番号を明記のうえ、下記まで送ってください。

「送付先：〒930 - 8555 富山市五福 3190 富山大学人文学部(入試担当)

電話 (076)445-6138」

9. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (3) 本学合格者についての受験番号、氏名及び住所に限り、関係団体である同窓会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。

(注) 上記団体からの連絡を希望しない場合は、人文学部(入試担当)にその旨を申し出てください。

- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という)において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

人文科学研究科の概要

思想・歴史文化領域

【哲学・人間学】

哲学は、存在・認識・世界観などの諸問題を、主に西洋哲学の方法論にもとづいて歴史的文脈を踏まえながら、深く掘り下げて研究します。人間学の研究領域には西洋思想だけでなく日本・東洋思想も含まれ、過去から現在に至る倫理思想、宗教思想、社会思想に、さらに生命倫理やジェンダーなどの現代的課題にも取り組みます。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 永井 龍男	哲学	アリストテレスを中心とした古代ギリシア哲学
准教授 池田 真治	哲学	ライプニッツを中心とした近現代西洋哲学
教授 田畑 真美	倫理思想史	日本倫理思想史、近代以前の儒教・神道・仏教思想
准教授 澤田 哲生	現代哲学	メルロ＝ポンティを中心とした現象学的人間学

【歴史文化】

日本をはじめ世界における歴史事象の様相を究明し、現代に要請される歴史認識を確立するため、4つの専門に分かれて実証的な研究を進めます。古文書など史料の解読に重点をおく日本史、東アジアを中心に中央・西アジアも対象に含める東洋史、欧米文化の及んだ地域を広い視野で探求する西洋史、遺跡や遺物を手がかりに過去の文化と社会背景を探る考古学において専門研究の深化と体系化をめざします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 鈴木 景二	日本史	古代社会文化史、立山信仰と北陸地域の歴史
准教授 熊谷 隆之	日本史	日本中世史、鎌倉時代の支配体制、古代・中世の荘園
教授 澤田 稔	東洋史	イスラーム時代の中央アジア・西アジア史
教授 徳永 洋介	東洋史	宋元時代の政治と法制
准教授 入江 幸二	西洋史	西洋近世史、スウェーデン史
准教授 南 祐三	西洋史	西洋近現代史、フランス史
教授 次山 淳	考古学	日本考古学、古墳出現期の社会史、土器様式史
准教授 高橋 浩二	考古学	日本考古学（弥生時代から古墳時代）

【国際文化論】

主として「環日本海」諸地域（日本・中国・朝鮮・ロシア）の文化とアメリカ文化の諸相、およびこれらの諸文化間の交流と受容について、異文化理解の視点から研究します。具体的には、思想、歴史、文学、カルチュラル・スタディーズなどの多様な手法を用いますが、これまでの文化潮流のなかで主流とは見なされてこなかったマイノリティーの文化やサブカルチャーも研究対象としています。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 鈴木 信昭	朝鮮文化論	朝鮮における西洋文化の受容
教授 末岡 宏	中国文化論	近代中国思想史、近代東アジアの伝統思想
教授 齊藤 大紀	中国文化論	1920・30年代を中心とした中国現代文学
教授 青木 恭子	ロシア文化論	ロシア帝国の拡大と国内移住
教授 小野 直子	アメリカ文化論	アメリカ医学史

行動・社会文化領域

【言語学】

人間言語の諸相に関する多様な関心にこたえるべく、多岐にわたる方法論が用意されています。個別言語の記述的ならびに歴史的研究から、言語間の比較対照をおこなう対照言語学・言語類型論、言語と社会の関係を究明する社会言語学、日本語学習者の言語習得を促進するものは何かを探る日本語教育学まで、さまざまな角度から言語に対する科学的かつ体系的な理解力を養います。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 呉人 恵	記述言語学	コリヤーク語の記述とその類型論的位置づけ
教授 樋野 幸男	日本語史	中世日本語の歴史および日本語の書記について
教授 山崎けい子	日本語教育学	学習環境のデザイン、日本語学習者の会話の分析
准教授 安藤 智子	音韻論	ロシア語および日本語の音韻的特徴

【心理学】

心のはたらきと行動の一般法則について、科学的・実証的方法を用いた研究を行うとともに、心理臨床の問題にも取り組み、心的活動のメカニズムを一般性と個別性の両面から解明することをめざします。多様な研究技法を用いて、認知心理・社会心理・臨床心理など心理学主要領域の知識を総合することで、社会の様々な分野において生じる種々の心理学的課題の解決に貢献する、高度な心理学的洞察力と実践力を育成します。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 喜田 裕子	臨床心理学	心理臨床論
准教授 黒川 光流	社会心理学	集団過程、対人コミュニケーション
准教授 坪見 博之	認知心理学	意識、注意、ワーキングメモリ

【社会学・国際関係論】

日本および国際社会における現代的な社会事象の様相を究明し、現代に要請される社会認識を確立するため、実証的な研究を進めます。差別論や自己論をはじめとする社会学理論、あるいは歴史分析や国際文化交流研究をはじめとする国際関係理論について、その最新の動向を学びながら、社会調査（フィールドワーク、インタビュー、質問紙調査、等々）に関する高度に専門的な理解を実践的に習得します。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 佐藤 裕	社会学	差別論、社会調査法（質問紙調査および統計解析）
准教授 伊藤 智樹	社会学	社会学的自己論、社会調査法（フィールドワーク等）
教授 竹村 卓	国際関係論	「人間の安全保障」論、現代国際関係史
准教授 林 夏生	国際関係論	国際文化交流論、現代日韓関係論

【人文地理学】

現代社会を空間的な視点から分析するために、理論研究・実証研究双方から様々な地理的事象を取り上げて研究を進めます。実証研究では、フィールドワークを中心とした、インテンシブな調査を行うとともに、得られたデータの分析には地理情報システムを活用するなど、新しい手法も取り入れます。それと同時に、欧米の最新の研究動向、隣接諸科学の技法、思考法をどん欲に取り入れ、地域のあり方を考えていきます。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
准教授 大西 宏治	人文地理学	子どもの生活空間研究、まちづくり、防災教育
准教授 鈴木晃志郎	人文地理学	行動地理学、観光地理学

【文化人類学】

フィールドワークを通じた経験的調査に拠って、人間の織りなす様々な社会文化的営為の多面的で重層的な現実の理解を試みます。人々の行動を精細に捉える観察力と人々の語りを適切に考察に内化していくスキルをもとにして、現代世界のさまざまな事象にアプローチしています。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 藤本 武	文化人類学	少数民族、環境利用、社会変化
准教授 野澤 豊一	文化人類学	音楽、芸能、身体、コミュニケーション

言語文化領域

【日本語文化】

日本語学と日本文学について、それぞれ伝統的な学問研究の方法を重視するとともに、現代的な視点からの解明もめざします。日本語学では、日本語の歴史およびフィールドワークに基づく方言や現代日本語の構造を明らかにします。日本文学では、各時代の作家や作品に即して、形成発展や受容の問題などを取り上げ、日本文学の特質を明らかにします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 小助川貞次	日本語学	日本語史、東アジア漢字文化圏の研究
教授 中井 精一	日本語学	現代日本語研究、社会言語学
教授 田村 俊介	日本文学	擬古物語・御伽草子などの中世文学及び『伊勢物語』
准教授 小谷 瑛輔	日本文学	日本近現代文学

【朝鮮言語文化】

朝鮮言語文化では、朝鮮語学・朝鮮文学の既存の研究成果や方法論を十分に踏まえた上で、新しい研究動向にも留意しつつ、研究を行います。また、研究の礎となる種々の資料の精読、分析を特に重要視し、その能力の向上を図っていきます。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
准教授 上保 敏	朝鮮語学	朝鮮語の形態論・統語論、およびその歴史の変遷
准教授 和田とも美	朝鮮文学	19世紀末から20世紀初頭の朝鮮文学

【中国言語文化】

中国言語文化では、東アジア漢字文化圏の中心をなす中国の言語文化について、伝統的な漢文の枠にとどまらず、古典文学（文言文学および白話文学）・現代文学・文字学・音韻学などの領域から、その性格の解明をめざします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 森賀 一恵	中国語学	古代中国語を対象とした文献学
教授 磯部 祐子	中国文学	中国笑話の江戸文学への影響、中国説唱文芸
教授 大野 圭介	中国文学	先秦兩漢時代を中心とした古典文学
准教授 梁 有紀	中国文学	上海の女性作家張愛玲を中心とした現代文学

【英米言語文化】

イギリス言語文化とアメリカ言語文化では、英米の市民文化・大衆文化の伝統や批評理論などをふまえて、文学作品を中心としたさまざまなテクストの精緻な読解・分析を主な研究活動としており、英語学では、英語という言語の構造や歴史の変遷などを研究します。これらを通して、多様な文化事象や言語の特質を分析・解釈・記述する能力を高めることをめざします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 奥村 譲	英語学	中世英語方言と写本の派生関係
准教授 藤川 勝也	英語学	意味論、認知言語学、機能的統語論
教授 恒川 正巳	イギリス文学	E. M.フォースターと20世紀初頭のイギリス小説
准教授 結城 史郎	イギリス文学	ジェイムズ・ジョイスと19-20世紀イギリス文学
教授 藤田 秀樹	アメリカ文学	アメリカ映画、20世紀アメリカ小説・演劇
教授 大工原ちなみ	アメリカ文学	20世紀アメリカ文学、ユダヤ系作家研究
教授 赤尾 千波	アメリカ文学	アメリカ黒人女性作家、映画における人種イメージ

【ドイツ言語文化】

学部で培ったドイツ語の高度な運用能力をもとに、ドイツ語に関わるさまざまな文化現象について、言語学あるいは文学研究の立場からアプローチし、その根源的な解明をめざします。ドイツ言語文化に特化して理解・研究を深めるだけでなく、本人の関心・意欲に応じて他分野の文学や語学関連の授業をあわせて受講し、対象を広げて研究を進めることも可能です。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 黒田 廉	ドイツ語学	現代ドイツ語学、複合動詞の意味・統語
准教授 阿部 美規	ドイツ語学	ドイツ語史、ドイツ語統語論の通時的研究
教授 宮内 伸子	ドイツ文学	ドイツ近代文学、翻訳を通じた日独語対照研究

【フランス言語文化】

フランスおよびフランス語圏さらにはフランス文化圏における、言語・文学・文化を対象に、最新の知見と研究成果を積極的に取り入れながら研究指導を行います。また、研究に必要な高度なフランス語能力の涵養にも努めます。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 中島 淑恵	フランス文学	フランス近代詩、比較文学
准教授 梅澤 礼	フランス文学	フランス近代小説、犯罪学

【ロシア言語文化】

ロシアさらにはスラブ世界を対象として、そこにおける諸言語の本格的な修得をめざすとともに、言語を基層とした文化、すなわち文学・言語・民俗・文化史等の分野での研究を行います。研究指導にあたっては、みずからの研究テーマを開拓する発想力を持ち、その学術的意義を十分に理解し、確かな方法論によって専門的研究を行うことのできる人材の養成をめざします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
准教授 武田 昭文	ロシア文学	19・20世紀のロシア文学

